

# 「かいぼり」からはじめる ため池の自然再生



## 地域を良くする「かいぼり」、はじめませんか？

「かいぼり」とは、稲の収穫後の冬に、ため池の水を抜いて干し、底にたまった泥を取り除いて、ひび割れや水漏れがないかを点検する作業のことです。

かいぼりを行うと、ため池に生息するコイやフナ、モロコなど多くの魚が捕れます。昔は、捕れた魚を甘辛く炊いて佃煮や甘露煮にして、冬の食べ物として重宝したといえます。

また、ため池の底にたまったヘドロは悪臭を放つこともあります。多くの有機物を含むため、江戸時代から肥料として活用されてきました。

現在のかいぼりは、ため池の維持管理のほかに、新しい役割や意味を持ち始めています。たとえば、貴重な動植物や水環境の保全、世代を超えた交流のきっかけなど、さまざまな面で地域の役に立ちます。そんな古くて新しい「かいぼり」の魅力をご紹介します。



▲五坊谷池でのかいぼり（昭和45年）



# かいぼりの魅力



## 底樋・堤防の点検

かいぼりで水を抜くと、普段は隠れている池の内部を見ることができます。樋は壊れていないか、漏水や陥没はないか、ひびや穴が開いていないかを点検できる貴重な機会になります。



### ①ため池の水を抜く



前日までに水を抜いておき、水位を減らします。

### ②生きものを捕る



魚を追い込み、網で魚などを捕まえます。

### ③仕分ける



在来種と外来種を分けます。

### ④生きものを観察する



どんな生きものがいたのか調べて記録しましょう。

### ⑤在来種を戻す



干し上げる場合は、別の池や水槽へ一時的に避難させます。

## 水質の改善

池を干して天日に2週間以上さらすことで、たまった汚れが分解されて、ヘドロや異臭を抑えることができます。



## 外来種の駆除

水を抜くと魚の逃げ場がなくなるため、底にたまった外来種を一網打尽にできます。篠山城跡南堀では、かいぼりなどで外来種を駆除することで、消滅した在来種のアサギが復活しました。



アカミミガメ



ウシガエル



ブルーギル



アメリカザリガニ

## レクリエーション・世代を超えた交流

かいぼりは、年齢を問わず多くの人に関わることでできる交流の機会になります。魚捕りに夢中になる子どもたち。昔から「じゃことり」が大好きだった大人たち。さまざまな人が集まり、ため池の魅力をかち合う機会になります。



# ため池のかいぼり・自然再生 応援します！

## ①生物多様性促進活動補助金の活用

かいぼりにあわせて外来種駆除や生きもの調査を行う際、必要な経費を**最大10万円**補助します。

### <補助の対象>

ため池のかいぼりにあわせて外来種駆除・生きもの調査を行う個人・団体

### <補助対象の例>

網やチップソーなどの消耗品費、ポンプや重機などのリース費、講師への謝礼など

※日当や弁当代、備品購入費などは対象になりません。

### <申請方法・必要書類>

- ・実施前（専門家会議での審査に時間を要するため、1か月前までに提出してください）  
申請書、事業計画書、見積書のコピーなど
- ・実施後  
報告書、領収書のコピーなど

## ②道具の貸し出し・かいぼりイベントの共催

外来種駆除や生きもの調査に役立つ胴長靴・たも網・バケツなどの道具を無料で貸し出しています。数に限りがありますので、事前に下記のお問い合わせ先までご相談ください。

また、かいぼりにあわせて、外来種駆除などを行うイベントを、市と共催で開催いただける団体を募集しています。

イベントの企画調整、講師の紹介、参加者の募集、啓発グッズの提供などを支援します。かいぼりの1か月前までに下記のお問い合わせ先までご相談ください。



**お問い合わせ** 丹波篠山市 環境みらい部 農村環境課

〒669-2397 丹波篠山市北新町41（本庁舎2階26番窓口）

TEL：079-552-5013 E-mail：kankyo\_div@city.sasayama.hyogo.jp

参考文献：

「かいぼりによる自然再生のとりくみ」東京都西部公園緑地事務所工事課、「東播磨かいぼり・外来種駆除マニュアル」兵庫県東播磨県民局